

団体名		一般財団法人武蔵野市給食・食育振興財団			
①	指標名	むさしの給食・食育フェスタ及び小学校給食体験講座 参加者数の前年度比増		目標値	平成27年度比増
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(過去の実績についての説明)
	(単位: 人)	239	394	302	平成26年度のみ、夏休みの始まった直後に実施。それ以外は夏休み後半に実施。
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				
事業	設定理由等	給食・食育フェスタは、児童・生徒・保護者等を中心としたより広い対象者に対し、食の重要性に関する理解や興味・関心を得られる機会として事業実施する。また市内農業者・商業者の協力を得て実施することにより、地産地消に対する理解を得る機会ともなるため、より多くの参加者を得ることを目標とする。小学校給食体験講座は、食を通じて、小学校を知ってもらう機会を作るとともに、給食で提供する昼食以外、家庭での朝食の重要性を知ってもらうことを目的とする。			
	取組内容	給食・食育フェスタは、平成27年度同様、夏休み後半の8月下旬の20日に実施日を設定した。オリンピック開催年に合わせ、「目指せ！食のメダリスト」といったネーミングを取り入れたり、広報チラシの配布先に商工会議所の協力を得て、商店会連合会に「チラシ」を置いてもらうなど、広報に力を入れる。小学校給食体験講座は、小学校入学名の保護者に対し、小学校を「食」の観点から知ってもらうために、市子ども政策課・教育委員会の共催で、平成27年度より新規事業として行った。平成28年度は開催回数の増・プログラムの工夫を行っていく。			
②	指標名	学校給食提供コストの前年度比減		目標値	平成27年度比減
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(過去の実績についての説明)
	(単位: 円)	521	512	508	6月に算出している数値は、市の決算事務が確定していないため、速報値的に算出したものである。
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				
財務	設定理由等	財団設立の目的である安全で質の高い給食の提供と食育事業を推進していくことは当然のこととして、他自治体で給食調理業務の委託化が進む現状では、コスト意識を念頭に、より廉価で安全でおいしい給食の提供が求められているため。			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約等の見直しによる物件費の削減</li> <li>・適正な職員数の把握及び維持</li> <li>・市派遣職員の配置換え等による減員に伴う財団職員への移行</li> </ul>			
③	指標名	執行体制の簡素・効率化 (市派遣職員を財団固有職員への段階的な移行)		目標値	(市派遣) 1人 (固有昇任) 3人
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(過去の実績についての説明)
	(単位: 人)	3	2	(市派遣) 3 (固有昇任) 5	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				
管理部	設定理由等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食調理の技術水準を低下させることのないよう、段階的に市派遣職員を固有職員に移行しながら、執行体制の効率化を図るため。</li> <li>・市派遣職員に代わり、財団固有職員が現場の責任ある職につくことで、固有職員全体の意識・意欲の向上につながることを期待できる。</li> </ul>			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の安全及び調理等のレベルを維持することを前提に、段階的に市派遣職員を削減し、団体固有職員へ移行する。</li> <li>・しかし、将来の組織の在り方がまだ明確ではないので、財団固有職員の昇任スピードについては当面、慎重に対応する。また、技能長については財団固有職員を抜擢するには経験が不足しているため、当面、市派遣職員の配置を要請する。</li> </ul>			